文部科学大臣杯 NPBガールズトーナメント2026
全日本女子学童軟式野球大会

実施概要

主催

一般社団法人日本野球機構、公益財団法人全日本軟式野球連盟

主管

全日本軟式野球連盟滋賀県支部（滋賀県軟式野球連盟）

後援

スポーツ庁、滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、草津市、近江八幡市、東近江市、彦根市、甲賀市、高島市、日野町、大津市教育委員会、草津市教育委員会、近江八幡市教育委員会、東近江市教育委員会、彦根市教育委員会、甲賀市教育委員会、高島市教育委員会、日野町教育委員会、公益財団法人滋賀県スポーツ協会、一般社団法人大津市スポーツ協会、公益社団法人草津市スポーツ協会、近江八幡市スポーツ協会、東近江市スポーツ協会、一般社団法人彦根市スポーツ協会、公益社団法人甲賀市スポーツ協会、一般社団法人高島市スポーツ協会、日野町スポーツ協会

協賛

名鉄観光サービス株式会社（出場チーム向けオフィシャルツアーの企画・販売）

協力

ミズノ株式会社

会期

2026年8月21日（金）～8月27日（木）7日間 雨天順延　※予備日8月28日（金）

会場

マイネットスタジアム皇子山（皇子山総合運動公園野球場）
草津グリーンスタジアム
カローラ滋賀はちまんスタジアム（近江八幡市立運動公園野球場）
ひばり公園湖東スタジアム
HPLベースボールパーク（彦根総合スポーツ公園野球場）
水口スポーツの森甲賀市民スタジアム
大谷公園野球場
今津総合運動公園今津スタジアム
新旭森林スポーツ公園野球場

出場チーム

46都道府県より48チーム（NPB推薦枠1、開催地代表枠1を含む）

放送・配信

日本野球機構（NPB）公式YouTubeチャンネルにて全試合を生配信
J SPORTSオンデマンドにて準決勝、決勝を生中継（BS放送、CS放送、ケーブルテレビ）※録画放送あり

出場資格

1. 小学生で編成された女子学童チーム
2. リトルリーグおよび日本少年野球連盟など、硬球を使用球としている団体に登録（参加）している者の出場は認めない。
3. 1チームのメンバーは監督1名、コーチ2名を除いて選手10名以上25名以内とする。
4. 18歳以上の責任者をチーム代表者として届出しなければならない。
5. 女子学童野球のチームで所属各府県支部の予選に優勝し、かつその支部長の推薦を受けたチーム、または、各都道府県支部で編成し推薦を受けたチームであること。
6. 出場チームの代表者、監督、コーチのいずれか1名で当日ベンチに入る者は有資格者とする。資格はJSPO公認コーチ3、JSPO公認コーチ1、JSPO公認スタートコーチ（ジュニア・ユース（旧スポーツ少年団））、JSPO公認スポーツコーチングリーダー（旧コーチングアシスタント）、BFJ公認学童指導者基礎Ⅰ U-12、JSBB公認学童コーチのいずれかの有資格者とする。

適用規則

2026年度公認野球規則、2026年版競技者必携学童野球に関する事項および別に定める特別規則を適用する。

使用球

公益財団法人全日本軟式野球連盟公認球（J号）を使用する。

大会ルール

投手の投球数制限について

選手の健康管理に配慮し、同一日における投手の投球制限に関する事項を以下のとおり定める。
選手の肘・肩の障害予防として、一人の投手が1日に投球できる数を70球以内（4年生以下は60球以内）までとする。規定投球数に達した場合、その打者の打撃完了または攻守交代までとする。また、1週間に投球できる数を210球以内（4年生以下は180球以内）までとする。

①試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。
②ボークにもかかわらず投球したものは、投球数に数える。
③タイブレークになった場合、1日の規定投球数以内で投球できる。
④けん制球や送球とみなされるものは投球数としない。
⑤投球数の管理は、大会本部が行う。

コールドゲーム、延長戦、タイブレーク、時間制限、給水タイムについて

コールドゲーム

得点差によるコールドゲームは採用しない。

延長戦

6回を完了し同点の場合、または試合開始後1時間30分を経過し同点の場合は、いずれも直ちにタイブレーク方式で試合を決する。

タイブレーク方式

①継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。すなわち、0アウト、一塁・二塁の状態にして、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで続行する。
②得点の記録は、合計得点とする。（例）1-1（タイ1回）4-3

時間制限について

選手の健康維持を考慮し、5回終了前であっても試合開始後1時間30分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。均等回完了をもって試合を決する。

給水タイム

2回、4回終了後（タイブレーク時は6回終了後、以降2イニングごと）に5分間以上の給水タイムを設ける。

リエントリー制度について

本大会は、選手の熱中症・疲労による疾病予防と、より多くの選手に出場機会を与えるためリエントリー制度を採用します。

基本ルール

- 先発9名（DH採用時は10名）および途中出場選手は、1度に限り再出場を認める。
- 再出場時の打順は元の打順を維持する。
- 守備位置の変更は可能。ただし投手・捕手が再び同じ守備（投手・捕手）に戻ることは、肘肩の障害予防の観点から推奨しない。

DH採用中に降板した投手のリエントリー

1.DH継続

- 降板した投手が代打（DH）として打席に入る場合 → DHの打順に入る。守備につかなければDH継続。
- 降板した投手が守備につく場合 → DHの打順に入るが、守備につくためDHは解除。

2.DH解除

- 投手が他の守備についた場合、またはDHが守備についた場合はDH解除。
- DH解除後、DH継続中に降板した投手がリエントリーする場合 → 打順表交換時のDHの打順で打席に入るか守備につく。
- 上記以外のDH解除後の扱い → 公認野球規則5.11(a) を適用。